

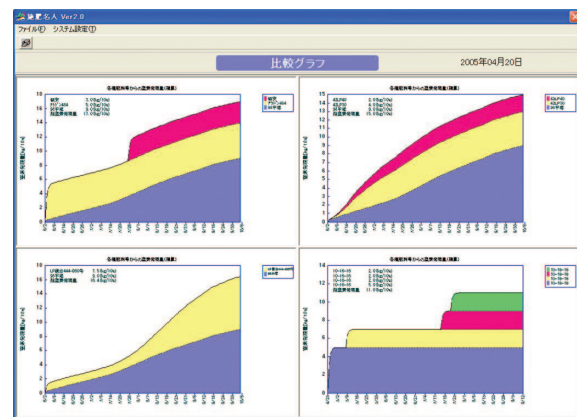
豊富なオプション

①比較グラフ

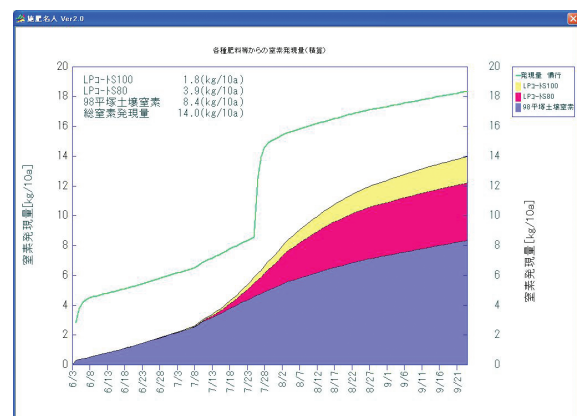
保存済のシミュレーション結果について、最大4つまで同時に表示できます。異なる施肥体系での窒素無機化パターンを比較する際に便利です。

②実測値のプロット

シミュレーション結果と実測値（窒素発現量、窒素吸収量）を比較したい時に便利です。



「比較グラフ」機能を使えば、最大4つのグラフを同時に表示して、シミュレーション結果を比較することができる（積算グラフ、期間グラフとも可能）。

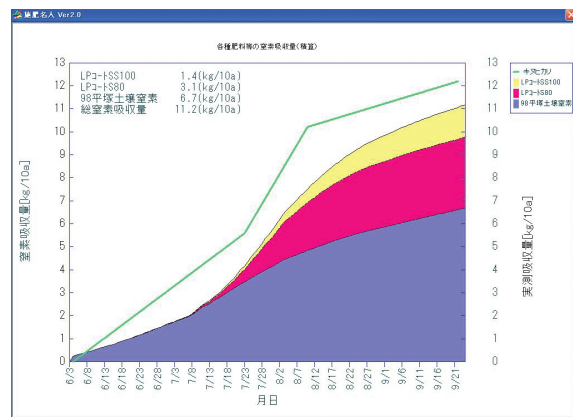


参考推定値のプロット画面

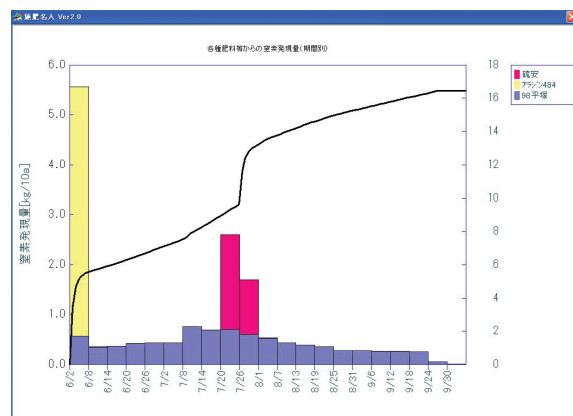
③参考推定値のプロット

表示してあるシミュレーション結果のグラフ上に、参考推定値をプロットできます。平年地温にもとづくシミュレーションに対して、当年の地温ではどのような窒素無機化パターンとなったのかなどを比較したい時に便利です。

※この他に期間グラフに積算グラフを重ね合わせて表示することができます。



実測窒素吸収量のプロット画面



期間グラフに積算グラフを重ね合わせて表示することができる。

動作環境

- パソコン本体：PentiumまたはCeleron 1GHz以上
- メモリ：Windows XP 256MB（推奨512MB）
Windows Vista 1GB（推奨2GB）
Windows 7 2GB（推奨4GB）
- ハードディスク空き容量：200MB 程度
- OS：32ビット版：Windows XP／SP3,
Windows Vista／SP2, Windows 7／SP1
64ビット版：Windows 7／SP1

- DB：Access2010 MDB
- 開発言語：Visual Studio .NET 2010
- 実行環境：.Net Framework 4.0
※32ビットとして開発しており、64ビットOSではWOW64環境で32ビットアプリケーションとして実行します。

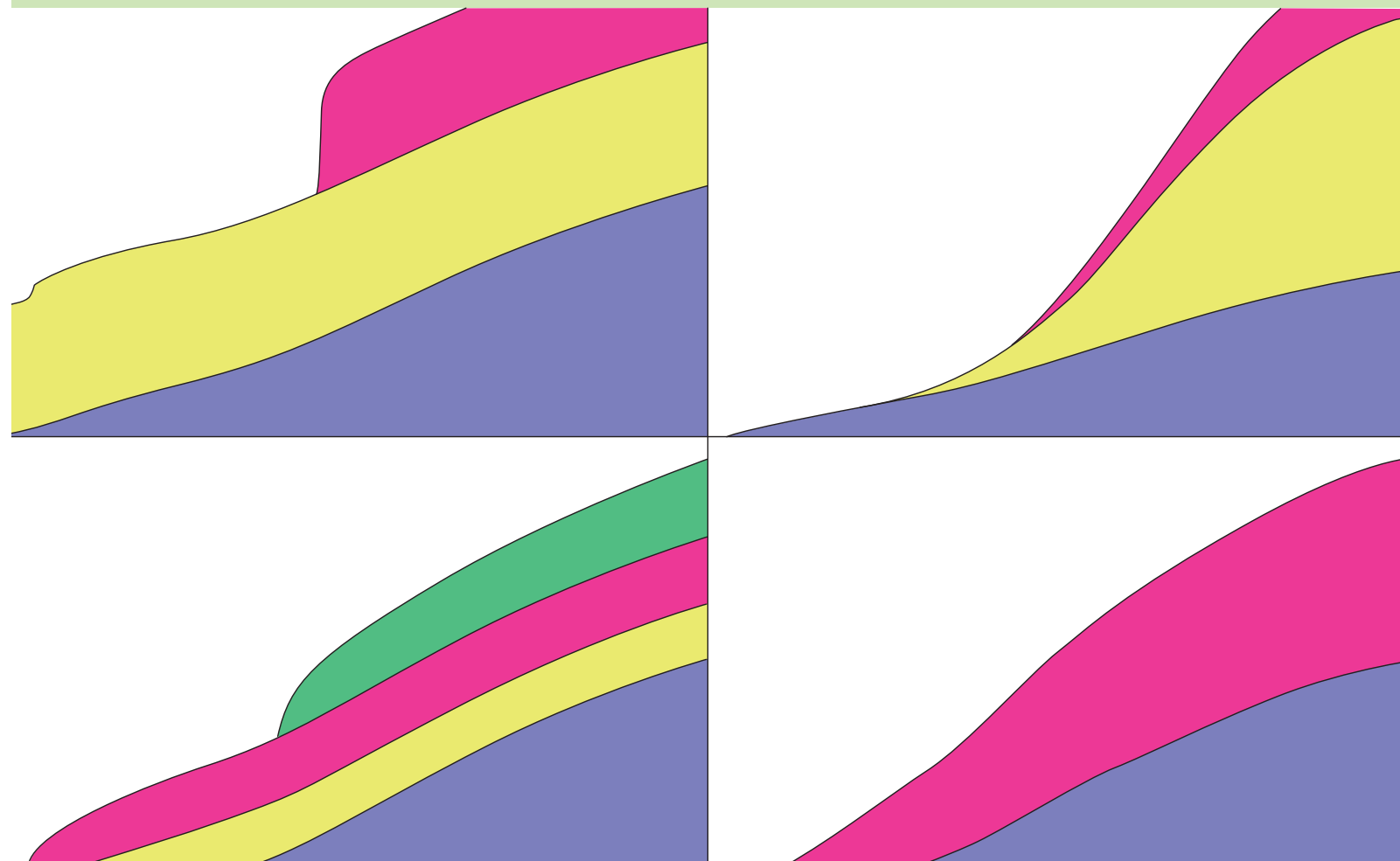
- MS-DOS, Windows, Visual Basicは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標および商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- 本製品の仕様およびパッケージ内容は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

お問い合わせはファックスフリーダイヤルで ☎ FAX. 0120-771639（JA全農肥料農薬部）

窒素発現量推定のための
JA施肥改善支援システム

施肥名人[®]

Ver3.0



JA全農 肥料農薬部

施肥名人[®] Ver3.0 とは……

施肥名人は、JAグループがすすめている「施肥コスト抑制運動」をバックアップするためにJA全農が開発した、ムダのない合理的な施肥を実現するための窒素の肥効をシミュレーションするソフトです。堆肥・土壌から発現する窒素量を予測することで、作物の生育に応じた肥効パターンを示す肥料の組合わせを求めたり、追肥の要否を判定できるので、ムダのない肥培管理ができます。

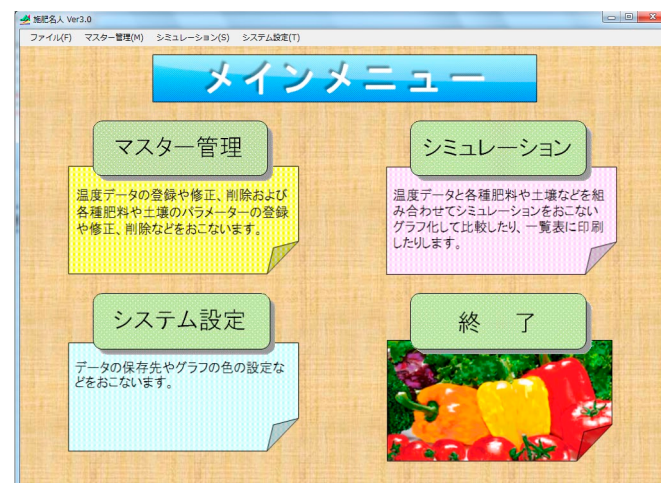
施肥名人Ver3.0は、ご好評いただいているVer.2をWindows 7に対応したバージョンアップ版です。

便利な機能のいろいろ

- 1 温度データの入力簡単です。
- 2 各種被覆肥料のパラメーター（計算のために必要な特性値）があらかじめ登録されています。
- 3 有機質肥料や堆肥、土壌についてのパラメーターを登録すれば、窒素無機化量のシミュレーションを行うことができます。
- 4 肥料ごとの窒素無機化量に利用率を掛け合わせることで、作物の窒素吸収量をシミュレーションすることができます。
- 5 わかりやすいグラフが簡単に作成できます。グラフ表示は、窒素の発現量を積算（累積）した積み重ねグラフと期間別棒グラフの2種類を選択できるほか、最大4つのグラフを同時に表示できます。
- 6 シミュレーショングラフの上に作物の窒素吸収量や被覆肥料の溶出量の実測値等をプロットすることができます。
- 7 シミュレーションの結果は、コメントをつけて、A4判1枚に印刷できます。また結果を保存して、他のシミュレーションの結果と比較することができます。
- 8 Windows 7に対応します。

シミュレーションの手順

- 1 事前準備
 - ①地温もしくは気温データを入力します（ファイル入力も可能）。
 - ②各種肥料・資材（堆肥、土壌など）のパラメーターを登録します。
- 2 シミュレーションの手順
 - ①温度データを選択します。
 - ②肥料や堆肥などを選び、施用時期、施用量等を設定します。
 - ③シミュレーションを実行します。
 - ④予想される窒素の発現量から、肥料の種類・施肥量、追肥時期などを検討します。



「施肥名人Ver3.0」のメインメニュー画面

●特長

- 1 窒素の発現量（有効化量）をシミュレーションするソフトです。
- 2 肥料（速効性、被覆、有機質、化学合成緩効性、複合肥料）、堆肥、土壌から発現する窒素量を地温または気温データをもとにシミュレーションします。
- 3 窒素無機化量に利用率を掛け合わせることで、作物の窒素吸収量をシミュレーションすることができます。
- 4 施用窒素や地力窒素の発現量と発現パターンを予測できるので、作物の生育パターンに合わせた適正な肥培管理が可能です。
- 5 窒素の発現パターンを把握することで銘柄選定や施肥設計の検討が簡単に行えます。
- 6 環境への負荷を軽減し、環境保全型持続的農業を支援するシステムです。

温度データの入力方法

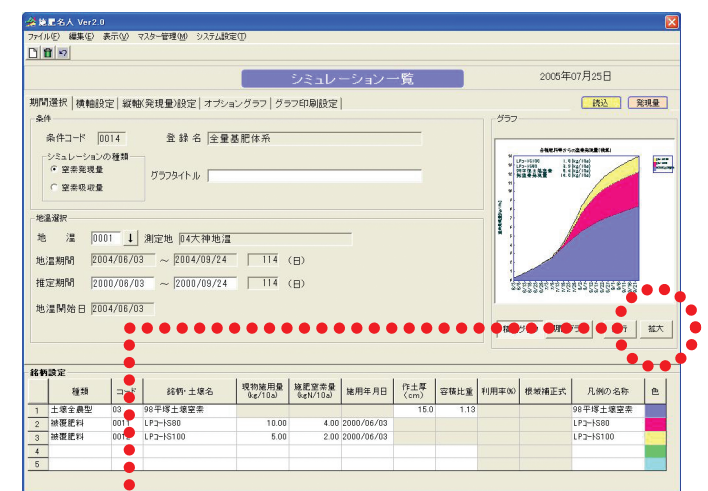
- ①マスター管理の地温データ画面で登録します。
- ②CSV形式の温度データファイルから読み込むことができます。
- ③気温を入力し、変換式にもとづき、地温に変換することができます（変換式の登録、設定が必要）。



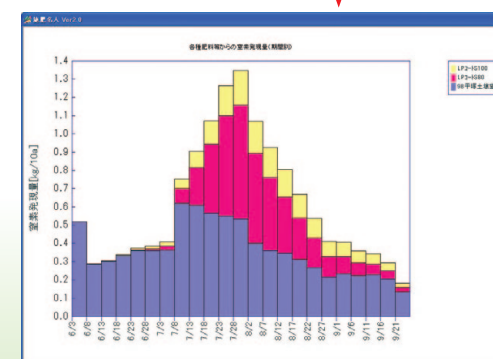
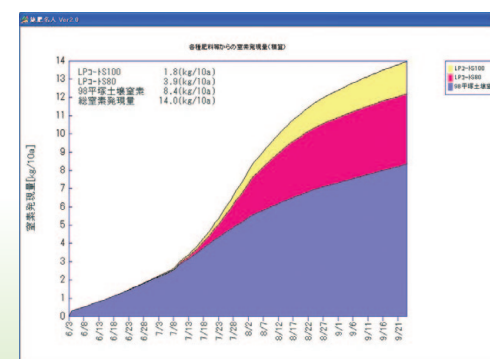
温度データの入力画面。メインメニューの「マスター管理」から呼び出す。

シミュレーション結果のグラフ表示

施肥名人Ver3.0では、シミュレーショングラフとシミュレーション条件が一画面に表示できます。また、シミュレーションの結果は、すぐさまグラフにして表示できるだけでなく、シミュレーション条件とともに、1枚の用紙に印刷できます。さらに、シミュレーションの条件と結果はCVS形式で保存ができます。



シミュレーション画面。Ver3.0ではシミュレーショングラフを確認しながらシミュレーション条件を変えることができます。また、画面赤丸の「拡大」をクリックするとグラフを拡大表示できる。



左：期間グラフの拡大表示画面

右：積算グラフの拡大表示画面